

(数 学 I) 学 習 指 導 案

学 級	1 年 3 組	教 室	215 教室	指 導 者	(省略)
単 元	第 1 章 方程式と不等式		教科書	改訂版 新編 数学 I (数研出版)	
指 導 目 標	数を実数まで拡張することの意義を理解させ、式の見方を豊かにするとともに、1次時不等式および2次方程式について、その性質や開放の仕方を理解し、活用できるようにさせる。		指 導 計 画	1 式の計算・・・・・・・・・・7時間 2 実数・・・・・・・・・・6時間 3 方程式と不等式・・・・・・・・11時間 (本時はその10) 4 補充問題、章末問題・・・・・・・・4時間	
本時の主題	2次方程式の D (判別式) の符号と実数解の関係				
前時の課題	教科書 p.47~p.49 を予習する。				
目 標	1 2次方程式の D (判別式) の符号と実数解の関係について理解させる。 2 身近な問題が2次方程式の問題に帰着できることを理解させる。				
指 導 過 程	指 導 内 容	欄	指 導 上 の 留 意 点		資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 基 準 等
	導 入	5	・課題を事前に板書させておく。		プリント <表現・処理>
	展 開	10 5 5 10	・2次方程式の実数解と D (判別式) の符号の関係について理解させる。 ・解の公式を用いるのではなく、 D の符号で解の個数が調べることを理解させる。 ・机間指導をして理解度を確認する。 ・2次方程式の解の種類から文字係数のとり得る値の範囲が決まることに気付かせる。		<知識・理解> <知識・処理>
	開 閉	10	・未知数 x のとり得る値の範囲が限定されていることに気付かせる。		<数学的な見方や考え方>
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・本時の内容が理解できたか確認させる。 ・課題を確認させる。		
次時の課題	教科書の練習 68 を解く。				
備 考	普通科 生徒数 40 名 (男子 21 名、女子 19 名)				

